

藻場再生から 始まった 漁業者の新たな形

水産庁長官賞を受賞

新おおつち漁業協同組合青年部が、「全国青年・女性漁業者交流大会」で岩手県代表として登壇。生物の環境保全に重要である藻場再生への取り組みが高く評価され、水産庁長官賞を受賞しました。

藻場（もば）とは？

「海の中の森」とも呼ばれ、岩礁や砂地に形成されるさまざまな海藻などの集まりのことです。海中のCO2を吸収し、海洋環境の保全や水質浄化に非常に重要な役割を担います。

広がる他分野との連携

①教育活動

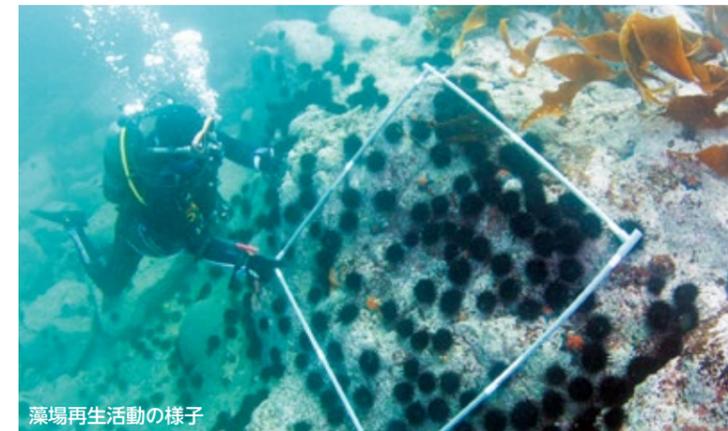
町の教育施策「ふるさと科（地域学習）」などの一環として、町内の生徒児童たちに「磯焼け」の現場を伝えることで「海離れ」を防ぎ、地元の人に親しみをもち、もらうように働きかけています。

②観光業

観光交流協会や藻場再生協議会と協働で、藻場再生イベント「おおつち里海ダイビング」や「三陸水中フォトコンテスト」を開催しています。

さらなる海業の発展へ

町は、地域を活性化させていく「海業」の中心的な柱として、藻場再生活動を展開し、豊かな海を次世代に引き継ぐための取り組みを進めています。



藻場再生活動の様子

大槌の海で何が？

平成29年ごろから藻場が著しく減少・消失する「磯焼け」が問題視されました。海水温の上昇と、それに伴い餌を食べる活動が活性化した「ウニ」による食害が主な原因とされています。磯焼けにより餌が失われ「アワビの減少」「痩せウニの増加」といった現象が起こり、漁業に大きな影響を及ぼしています。

痩せウニ…餌の不足で身入りが悪くなったウニ

藻場再生活動を開始！

令和元年度から地域住民の有志で磯焼け対策活動を開始。令和3年4月には「大槌町藻場再生協議会」を発足し、本格的に活動を始めました。

- 3～5月（モニタリング調査）
痩せウニなどの密度を管理
- 6～9月（種苗設置準備作業）
種苗設置に向けたボルト設置作業
- 9～12月（ウニの密度管理）
適正密度まで痩せウニの間引きを実施
- 12～3月（海藻種苗の設置）
磯焼けエリアで不足している海藻種苗を補完

活動実績
140回以上

間引きした痩せウニ
19万個以上

磯焼けエリアに変化が！！

活動前には分布していなかったアカモクやノリ類の生い茂る様子も確認でき、痩せウニの間引きは天然海藻類の保全に有効であることが証明されました。

水産庁長官賞を受け、4月14日（月）新おおつち漁協組合長の平野榮紀さんと新おおつち漁協青年部長の芳賀光さんが平野町長を表彰訪問しました。



5月23日（金）東京で開催された全国規模の海業推進協議会で、町の海業について、平野町長から活動の紹介を行いました。



②おおつち里海ダイビングの様子



①ふるさと科（地域学習）の様子

産業振興課 Tel.0193-42-8717

2025 吉里吉里海岸一斉清掃

今年度も海岸清掃を実施します！

私たちの故郷の宝「吉里吉里海岸」を大切に守り続けていきましょう。みんなで「美しい海・吉里吉里海岸」をさらにきれいにしましょう。

- 期日 7月20日（日） 小雨決行
- 時間 午前6時から 1時間程度
- 場所 吉里吉里海岸（旧吉里吉里漁協跡地付近）
- 持ち物 軍手、スコップ、レーキ、熊手、鎌、草刈り機

※ゴミ袋・草刈り機（混合油）は準備します

※開会行事を行いますので、現場の指示に従ってお集まりください

長年の活動が認められ、令和4年秋に「緑綬褒章」を受章しました



〈協力〉
釜石海上保安部
大槌町三陸ジオパーク推進協議会
一般社団法人大槌町観光交流協会



（教育振興運動推進協議会 吉里吉里実践区 会長 芳賀新）
〈問い合わせ先〉 事務局 吉里吉里学園中学部 平田善一 Tel.44-2310